

# かけがわ市議会だより

令和5年2月1日

第84号

令和4年11月  
臨時会、定例会  
の内容をお知らせ  
します。



## おもな内容

- P2 トピック (議会報告会)
- P4 常任委員会 調査研究報告
- P6 補正予算等の審議内容 (11月臨時会) / 審議結果一覧 (11月臨時会)
- P7 補正予算等の審議内容 (11月定例会)
- P8 審議結果一覧 (11月定例会) / 職員の不祥事への対応に関する決議
- P9 会派代表質問
- P12 一般質問
- P16 未来日誌 / 議員研修会 / 傍聴席 / 表紙の説明 / 編集後記



Topic トピック



茶のみやきんじろう © 掛川市

～より市民に開かれた議会を目指して～

令和4年度

## 「掛川市議会 議会報告会」

## 多くの皆様のご視聴・ご意見 ありがとうございます

議会報告会は、新型コロナウイルスによる影響で3年ぶりの会場開催となりました。今年度は感染症拡大の懸念もあり、通常の9会場から4会場へと縮小し、区長会及び役員を中心とした175人の皆様にご来場をいただきました。ご参加いただいた皆さん、WEBで動画をご視聴いただいた皆さんに感謝を申し上げます。

※たくさんのアンケートをいただきました。要約して掲載します。



議会報告会の様子

## 全般的な感想や議会に関するご意見、ご要望について

- 今日のような試みは良いと感じました。続けてください。
- 意見を聞くのであれば、資料の事前配付が原則。配付ができないのであれば、何を報告するのかくらいは説明してほしい。
- どのテーマについても、市民それぞれが自分ごととして感じてもらうことが大事だと思う。市民を含めて全体で盛り上げてほしい。
- もう少し早い時期にワークショップ形式で、テーマ毎の意見交換会を行うべきと思う。
- 行政からの依頼事項が多いので、区長への出席依頼は考えてほしい。

## 各委員会の中間報告に対するご意見など

### 総務委員会

#### テーマ 市の持続的な成長のために

- 問題・課題が多い中、重要課題から一つ一つ早急に進めていただきたい。
- 自治区の最大のネックは、自治会役員・就業年齢の高齢化などがあるが、働きながらも役員ができる体制が必要ではないか。
- 外国人には、生活に支障をきたさないように日本語習得支援が重要。
- 人口を維持していくために外国人、移住者施策も必要だが、子育てしやすい社会をつくることを目指すべきだ。

### 環境産業委員会

#### テーマ 掛川市のカーボンニュートラルに向けた意識改革

- 「もったいナイン（9）の日」は良いアイデアだと思う。しっかりとPRしてください。
- 「もったいない」はお年寄りには受けが良さそうではあるが、若者受けしない気がする。もう少し若者受けするスマートな標語を。
- カーボンニュートラルは世界的な問題であり、いくつかの具体案は存在するため、早急に実施することが重要。
- 火力発電に代わる風力や太陽光発電をどのように推進していくのかを、原子力発電の是非も含めて検討していただきたい。

### 文教厚生委員会

#### テーマ 新しい学校施設の在り方について

- 再編は、地元の理解のもと実施することが絶対条件。
- 学校再編は自ずとその必要性が高い地域から声が上がってくるので、そうでない所は拙速に行政主導で進めるべきではない。
- 学校再編にあたり掛川市以外の先進地の取り組みを調査し、本市の再編を考えるやり方は、議会の役割を果たしている。
- 子どもたちとの意見交換会を行ってはどうかと考える。

※ 3 常任委員会の発表内容は 4 ページ～5 ページをご覧ください。

議会報告会の動画は、引き続き  
視聴できますので、ぜひご覧ください。



視聴はこちら↑

# 常任委員会 調査研究報告

～市民の皆さんのご意見を踏まえ活発な議論～

各委員会、研究テーマを定め、これまで積極的に調査研究を重ねてきました。また、議会報告会により、調査内容を市民の皆さんにお示しし、アンケート（2ページ～3ページ掲載）でご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえ、さらに調査研究を重ね、市長への政策提言につなげていきます。  
※各委員会の議会報告会の資料は、二次元コードからご覧いただけます。

## 総務委員会

委員長 寺田幸弘

年間テーマ 市の持続的な成長のために

### 調査研究報告

- ① 持続可能な市民生活に根付いた、行政と地域社会の関係性の在り方を明確にすること。
- ② 移住定住者支援策の今以上の充実を図るとともに、外国人居住者に対して、専用窓口を創設し、外国人居住者や自治会への支援につなぐこと。
- ③ 障がい者やLGBTQ（性的少数者）など多様性への理解を深め、地域社会への啓発と、実情に合わせた支援策を行うこと。
- ④ 掛川市の成長のため、市が所有・管理する空き施設や土地の活用、売却は、各地区の将来発展を考え、市民目線に立ち有効活用していくこと。



テーマについて協議会で議論

まとめ

掛川市の持続的な発展のためには、多様な市民が共生し、一人ひとりが充実した生活をしていくことが重要です。有効的な政策提言となるようにまとめてまいります。





# 環境産業委員会

委員長 藤原正光

年間テーマ 掛川市のカーボンニュートラルに向けた意識改革

## 調査研究報告

- ① 中小企業振興条例に環境配慮を重んじた内容を追加・見直しをすること。
- ② 産業振興の部門で脱炭素の取り組み経費も含めて、産業部門が温室効果ガス対策に取り組むこと。
- ③ 家庭で廃棄する手つかず食品や食べ残しを記録する日記など、アプリ等を活用して「見える化」し意識を高めること。
- ④ 食品ロス削減に向けて、行動を起こすきっかけづくりとする日を制定して、自分ごと化すること。



吉田町のヤマザキグループ総合研究所を視察

まとめ

市民の皆さんから、個人個人が何をすべきか、具体的な提案事例を示すよう課題をいただきましたので、「自分ごと化」して、行動を起こし、無意識層にも浸透できるような協議を深めてまいります。



# 文教厚生委員会

委員長 嶺岡慎悟

年間テーマ 新しい学校施設の在り方について

## 調査研究報告

- ① 学校再編計画の実施計画を進めていくには、地元合意が必須であり、地元合意が無ければ進めるべきではない。
- ② 複合施設化により地域住民が学校と交流しやすい環境を整えることも選択肢として重要である。
- ③ 校舎の老朽化や適正規模を踏まえながら小中一貫校を新設し、将来的な生徒数の減少に応じて統合していく方法も検討に値する。
- ④ 小中一貫校の形態として施設一体型か施設分離型かはしっかりとした検証が必要であり、メリット・デメリットを理解できるよう努めるべきである。
- ⑤ 天浜線や既存バスなどの活用を十分に検討し、市内で不公平感のない計画となることが大切である。



磐田市のながふじ学園一体校を視察

まとめ

アンケート結果から、まだまだ市民の皆さんの学校再編計画への理解が十分でないことがわかりました。皆さんと一緒に掛川市の子どもたちの将来を考えていけるよう進めてまいります。



# 11月臨時会 補正予算等の審議内容

## 控訴の提起

平成30年3月、市が家代の里地内緑地を誤って売却した問題で、損害賠償を求めて争われている裁判の判決が、10月27日に静岡地方裁判所でありました。判決に対して市は、内容の一部を不服として、控訴の提起をすることについて議決を求め、臨時議会を招集しました。

### 主な質疑

**Q** 第一審の損害賠償額(3,537万9,719円)が増える可能性はないのか。

**A** 金額が下がるように控訴したい。

### 主な意見

- ・庁内でよく協議し、市の主張が認められるよう最善の策をとること。
- ・今後も市民の信頼回復に努めてほしい。

## 令和4年度一般会計補正予算(第8号)の概要

**補正額 144万円**(弁護士費用として)

## 専決処分の承認【令和4年度一般会計補正予算(第7号)及び簡易水道事業会計補正予算(第1号)】

**一般会計 補正額 9億3,021万円**(国・県支出金と市の基金からの繰り入れ4億726万円)

**簡易水道事業会計 補正額 478万円**

台風15号による災害の早期復旧のため、公共施設や道路河川等のインフラの復旧工事、災害廃棄物処理など、市が行った補正予算の専決処分を承認

## 11月臨時会における審議結果一覧

### ■全会一致で可決・承認

**予算** 令和4年度掛川市一般会計補正予算(第8号)について

**その他** 控訴の提起について

専決処分の承認を求めることについて【令和4年度掛川市一般会計補正予算(第7号)について】  
台風15号に伴う災害復旧関連事業費について、早期の対応を図るため、専決処分したもの

専決処分の承認を求めることについて【令和4年度掛川市簡易水道事業会計補正予算(第1号)について】

台風15号に伴い被災した、泉簡易水道及び大和田簡易水道の配水管及び導水管の修繕等を実施するため、専決処分したもの

# 11月定例会 補正予算等の審議内容

## 令和4年度一般会計補正予算(第9号・第10号・第11号)の概要

### 補正額

(第9号) 2億4,741万円 (第10号) 6億 586万円 (第11号) 1億 606万円

### 補正後の予算額 556億1,047万円

第9号は、物価高騰対策が主なもので、新たに市民生活等支援事業費、輸送事業維持確保支援金などが追加されました。第10号は、エネルギー価格高騰に伴う公共施設の光熱費、ふるさと納税推進費などが補正されました。第11号は、出産・子育て応援交付金の交付に伴い、母子保健事業費が増額されました。

### 物価高騰対策市民生活等支援事業費追加 1億2,570万円

掛川市内の全世帯・事業者に対する水道基本料金1期(2か月)分の減免及び水道の供給を受けていない世帯などに対する減免相当額の支援を実施する費用

#### 主な質疑

- Q** 給水契約をしていない世帯を対象とする理由を伺う。
- A** コロナ感染症及び物価高騰の影響を受けた市民に対する支援をすることが目的です。

### DX推進計画推進費増 155万円

マイナポイント第2弾の対象となるマイナンバーカードの申請期限が延長されたことなどに対応するため、マイナポイント申込等支援を行う窓口の委託料

#### 主な質疑

- Q** マイナポイント申込窓口の利用人数を伺う。
- A** 3～10月末までの利用者数が16,385人、対応件数が34,495件で、そのうちポイントに関するものが11,960件です。

### 中学校施設補修費増 2,329万円

新年度の学級編成における学級増への対応及び通常学級に在籍する発達や言語に障がいのある子どもの特性に合わせた個別の指導を、小学校から引き続き行えるよう、西中学校へ通級指導教室を新設するための工事費用

#### 主な質疑

- Q** 学級数の増加により、新年度、プレハブの設置などが必要な学校はないか。
- A** 教室数については、現時点では収まっていますが、限界の状態です。

### 海岸防災林整備事業費増 5,200万円

静岡市から、台風による災害で発生した土砂の受け入れ(無償)要請があったことに伴い、防潮堤整備に活用し、事業の促進を図るための整備工事費用

#### 主な質疑

- Q** 静岡市から受け入れ要請のあった災害発生土の土質と量を伺う。
- A** 防潮堤整備に活用可能な土質で6万立米、200メートル分になります。

### 母子保健事業費増 1億 606万円

令和4年4月以降に出産された方を対象に、計10万円を交付する出産・子育て応援交付金事業を実施するための費用

#### 主な質疑

- Q** 対象者の交付基準及び期間について伺う。
- A** 妊娠届け出時には妊婦に対して、出生届け出時には出生児に対して交付され、期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日までですが、国が事業の継続を検討しています。

# 11月定例会における審議結果一覧

## ■全会一致で可決

予 算	令和4年度掛川市一般会計補正予算(第9号)について
	令和4年度掛川市一般会計補正予算(第10号)について
	令和4年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
	令和4年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について
	令和4年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
	令和4年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)について
	令和4年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について
	令和4年度掛川市水道事業会計補正予算(第2号)について
	令和4年度掛川市簡易水道事業会計補正予算(第2号)について
	令和4年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について
	令和4年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について
	令和4年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算(第1号)について
令和4年度掛川市一般会計補正予算(第11号)について	

条 例	掛川市職員の定年延長に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
	掛川市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について
	掛川市職員の定年等に関する条例の一部改正について
	掛川市職員の退職手当に関する条例の一部改正について
	掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
	掛川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正について
	掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について
	掛川市職員の給与に関する条例の一部改正について
	掛川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について
	掛川市税条例の一部改正について
掛川市介護保険条例の一部改正について	

そ の 他	市道掛川高瀬線道路改良工事変更請負契約の締結について
	字の区域の変更について(板沢地区)
	字の区域の変更について(高瀬地区)

## ■賛否の分かれた議案(賛成多数可決)

○賛成 ×反対

議案名	創世会										新しい風		SKK*	共産*	共掛*	志*					
	松本均*	安田彰	石川紀子	鷺山記世	高橋篤仁	山田浩司	藤原正光	寺田幸弘	山本裕三	二村禮一	橋本勝弘	松浦昌巳	嶺岡慎悟	藤澤恭子	窪野愛子	山本行男	大井正	勝川志保子	鈴木久裕	富田まゆみ	草賀章吉
公の施設の指定管理者の指定について(22世紀の丘公園)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

\*議長(松本 均)は、採決には参加しません \*SKK▶市民派・公明倶楽部 共産▶日本共産党議員団 共掛▶共に創る掛川 志▶志誠会

## 全会一致で可決

## 職員の不祥事への対応に関する決議

このたび相次いで発生した職員の不祥事については、市当局が男女共同参画の拡大、ダイバーシティを謳い推進している最中の事件であり、極めて憂うべきことと捉えている。

掛川市議会は、不祥事の再発防止と職員が安心して力を発揮し仕事ができる職場づくりのため、市当局に下記の事項に対応をするよう求める決議を行う。

記

- 1 職員へのアンケート調査の結果を踏まえて、再発防止計画の作成を行い公表すること
- 2 良好な職場環境をつくり、安心して職務に専念できる体制を整えること
- 3 不安を抱えている職員の安全安心の確保に努めること

令和4年12月19日

掛川市議会



# 会派代表質問 Q & A

2名以上の議員で構成される5つの会派（創世会、新しい風、日本共産党議員団、市民派・公明倶楽部、共に創る掛川）代表が来年度の行政経営方針や予算編成に対する市長方針を受け、包括的な視点から代表質問を行いました。議会でのさまざまな論議が来年度の市政運営に生かされていくことを期待します。

## 創世会



寺田 幸弘

創世会の代表  
質問はこちら  
から

### 副市長二人体制の成果と評価は

**Q** 副市長二人体制による業務分担の成果と評価について伺う。

**A** 高柳副市長は、重要な行政課題について、石川副市長は、DX、働き方改革などについて取り組んでいます。それぞれの持ち味を生かし、役割分担と連携を図ることができていると評価しています。

### 22世紀の丘公園室内施設に木と触れ合える構想を

**Q** 現在、再整備計画策定中の22世紀の丘公園室内施設に、掛川らしい木のおもちゃ館など木と触れ合える構想が考えられないか伺う。

**A** 現在、「たまりな」の再整備計画を策定中で、室内施設の結果により木と触れ合える

施設の整備を検討している

### 地域公共交通計画の進捗状況は

**Q** 交通弱者への移動手段の確保は、市民意識調査でも満足度が低く優先度が高くなっている、急務であると考えるが、策定中の地域公共交通計画の進捗状況を伺う。

**A** 地域公共交通計画は、令和5年度の完成を目指し、現状分析や課題整理の作業を行っています。今年度、実施する市民ニーズ調査の結果や、バス・タクシーの実証実験結果を分析し、地域公共交通計画に反映していきます。



遊び場などに改修する計画に決定した際には、木と触れ合える施設の整備についても検討していきます。

# 新しい風



藤澤 恭子



新しい風の代表  
質問はこちら  
から

## 市長のビジョンは何か

**Q** 市長の掲げる「対話とチャレンジ」の達成すべきビジョンを今一度伺う。

**A** 「対話」については、今後、若者や子育て世代の皆様とも対話できる機会を設けていきたいと考えています。「チャレンジ」については、すべての方が自分らしく安心して、公平にチャレンジできるまちの実現を目指しています。今後も、本音の対話を重視し、時代や社会の変化を的確に捉えながら、柔軟思考でチャレンジしていきます。

## すべての子どもの健全な育成を

**Q** みどり教室の拡充や子どもたちの第3の居場所づくりなど、誰一人取り残されない環境づくりの対策を伺う。

**A** 誰一人取り残さない伴走的支援を行う

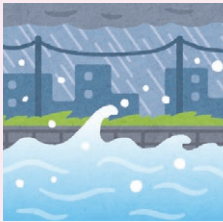
**Q** 想定が難しい災害への対策の考え方を伺う。

## 異常気象などで頻発する災害への取り組みは

**A** 想定が難しい災害への対策の考え方を伺う。

## 市民の命と財産を守る対策を進め風水害に備える

**Q** 地震災害においては、県の第4次地震被害想定により減災対策を進めていますが、近年の風水害は想定が難しい災害となつていきます。被害を最小限に抑えるため、引き続き、市民の命と財産を守るハードとソフトの両面の対策を進め、風水害に備えていきます。



# 日本共産党議員団



勝川 志保子



日本共産党議員  
団の代表質問は  
こちらから

## 学童保育は全市的計画を早急に立て需要に見合う措置を

**Q** 児童数の3、4割が入所を希望する時代。保育二一ズに見合う新增設や指導員の処遇改善などの計画を早急に立て、国基準を守った整備が急務ではないか。

## 学校再編計画との整合を図りながら整備計画を策定する

**Q** 補聴器購入助成制度の導入にあたり、所得制限を設けず対象を広げることは認知症予防の観点からも重要ではないか。

## 市民が期待する補聴器購入助成制度は対象を広く

**Q** 補聴器購入助成制度の導入にあたり、所得制限を設けず対象を広げることは認知症予防の観点からも重要ではないか。

## 専門医などに相談しながら制度を検討している

**Q** 難聴の早期改善を図ることは、認知症予防の効果が期待できることから、対象となるより多くの方が利用できる制度となるよう、現在、専門医などに相談しながら、検討しています。

## 市民負担が大きい草刈りや落ち葉処理の在り方見直しを

**Q** 街路樹、公園、川の法面などは、業者への委託管理などを広げて、市民負担の軽減を図れないか。

## 高木樹木の剪定と自走式草刈機の導入により負担軽減する

**Q** 高木樹木の剪定により、落ち葉の処理量を減らし、収集作業の負担軽減につなげていきたいと考えています。また、草刈りについては、自走式草刈機の導入などにより、負担軽減の方策を進めていきます。

## 【その他の質問事項】

- ・市民の命と健康を守るための
- ナ感染対策について



# 市民派・公明倶楽部



## 庁内全職員のデジタル技術向上のための取り組みは

**Q** 誰一人取り残されないデジタル社会の構築には、職員が使命感と情熱を持ち、技術向上させる必要がある。全職員のスキルアップについて伺う。

**研修の実施や実践を通じて学べる仕組みづくりを進める**

**A** 全職員を対象に情報セキュリティ研修を実施したほか、本年度は32の研修コースを、延べ145人の職員が受講しました。今後、さらに多くの職員がスキル向上のために必要な研修を用意するとともに、実践を通じて学べる仕組みづくりを進めていきます。



## 協働によるまちづくりの推進が市民に浸透しない要因は

**Q** 各地区にまちづくり協議会が設立され、さまざまな活動が行われている。市民意識調査の結果では、未だ市民に協働によるまちづくりの推進が浸透していない。その要因を伺う。

**協働の取り組みは着実に浸透してきている**

**A** 各地区でさまざまな協働の取り組みが展開され、着実に浸透してきていると認識しています。今後も協働の取り組みが広く展開されるよう支援を行います。認知度向上に努めていきます。

## 地域社会の課題解決を目指す新たな公民連携への取り組みは

**Q** 地域社会の課題解決のために、協働のまちづくりを推進してきたが、協働の意義を進化発展させるための新たな公民連携への取り組み方針を伺う。

**新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていく**

**A** 「掛川SDGsプラットフォーム」の取り組みのように、多様な主体の強みを活かし、実践的な取り組みの展開により、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていけるよう努めていきます。

# 共に創る掛川



## 令和3年度の決算審査意見書において監査委員から指摘された事項への対応状況は

**Q** 令和3年度に発生した、職員の不適切な行為や事務の防止策として、内部統制制度導入が例示された。これに対する見解と取り組み状況はどうか。

**内部統制制度の導入について研究していく**

**A** 市役所業務を阻害するリスク管理として、「掛川市職員行動指針」と、「再発防止のためのアクションプラン」を策定し、職員に周知しているところです。また、各部署において事務マニュアルを整備し、適正に業務を遂行しているところです。法令を遵守し、効率的・効果的に、また、公平公正に業務を遂行し、市民サービスを提供できるように、引き続き内部統制制度の導入について研究していきます。

**Q** かけがわ報徳パワー(株)については、自社電源の確

保に取り組むよう提言されている。自社電源の現状及び今後の具体的な取り組み方策についてはどうか。

**電力の調達先を増やし今後は地産電源確保を進めるとのこと**

**A** 令和4年より市所有の風力発電から電力を調達しているほか、他の地域新電力の廃棄物発電の電力を調達しています。このほか、確保したベースロード電源をあわせると、今年度の供給に占めるこれら電力の比率は約4割となっています。今後、供給量に応じた地産電源の確保を進めていくと聞いています。



### 【その他の質問事項】

- ・都市計画と農業振興地域制度に対する考え方について
- ・生涯学習まちづくり土地条例について

創世会  
藤原正光



藤原議員の一般質問  
はこちらから



避難者のことを考えた津波避難タワーや施設の改善を

Q 今後の海岸線の発展を踏まえ、滞留旅客の安全避難や地域の高齢者避難を考え、避難施設の見直しが必要と考えられている見解を伺う。



災害時に避難施設となる他市のサッカー場

引き続き民間企業などと協定の締結を進めていく

A 津波避難については、避難が間に合わない場合などの緊急避難施設として、3箇所の津波避難タワーと、協定を締結した17箇所の民間企業などの津波避難施設があります。引き続き、民間企業などと協定の締結を進めていきます。将来、海岸線地域ビジョンが進んでいく中で、交流人口の拡大による滞留旅客などについても同様な周知を進めていきます。また、観光客が増加し、既存施設では対応できず、新たな施設が必要になった場合には、景観展望機

能も併せ持った複合的な避難施設を研究していきます。

シニア世代が地域や経済において活躍できる環境整備を

Q 高齢者の能力を活かした地域のための新しい雇用を生み出すような、地域関係者と協働で包括的な支援体制をつくる仕組みはできないか伺う。

シニア世代の能力や技術を生かせる場づくりに努めていく

A 本市には高齢者が得意な作業などを生かせる「シルバー人材センター」のほか、企業の課題と人材をマッチングする「中東遠タスクフォースセンター」がありますので、関係機関との連携を深めながら、シニア世代の能力や技術を生かせる場づくりに努めていきます。

【その他の質問事項】

・未熟児養育を含めた子育て支援について

新しい風  
橋本勝弘



橋本議員の一般質問  
はこちらから



権限移譲の成果と課題は

Q 地方分権が求められる主な理由は、「地域の実情に即した政策展開と個性ある地域づくりを進めるため」、「住民の参画と政策決定の関与を可能とするため」、「受益と負担の関係が明確になるため」などと言われている。権限移譲のこれまでの成果と課題について伺う。



利便性が向上した事務がある一方で課題も残っている

A 令和4年10月1日現在、966件の事務について権限移譲を受けています。そのうち、パスポートの交付などは、各種手続きや相談が身近な市役所で可能になったことで利便性が向上しました。一方で、年間取扱件数が少ない事務は、専門知識や事務処理のノウハウの蓄積が難しく事務執行の課題となっています。

農業振興地域整備計画の改善を

Q 「農業振興地域整備計画」は地方分権改革の視点から改善の必要性があると考えますが、見解を伺う。

優良農地を確保しつつ基礎調査に基づき計画を策定する

A 第5次地方分権一括法において、農地法及び農振法の改正が行われ、一部の許可で権限移譲が行われました。権限移譲を受けようとする市町村は、優良農地確保の目標設定などの要件を満たす必要があります。計画の策定では、優良農地の確保をしつつ、基礎調査に基づき地域の実情を反映させていきます。なお、農用地区域からの除外に関する個別の案件は、制度上の要件などに照らし合わせて判断していきます。



創世会  
高橋篤仁



高橋議員の一般質問  
はこちらから



### 災害に強いまちづくりを

**Q** 通行不能が確認できた道路を、いかに早く市民に伝えるか、二次災害防止につながるかと考えるが見解を伺う。

### 通行不能な道路の情報をお知らせする方法を検討していく

**A** 浸水した道路や土砂災害により通行できない状況を市民に周知することは、二次災害防止につながると思います。しかし、大きな災害ほど、対応に時間と人員が必要となりますので、台風15号を教訓に、通行不能な道路の情報をお知らせする方法を検討していきます。なお、道路の冠水情報について、観測システムを市内に設置して監視できるように今年度準備を進め、観測データの活用について、市民へ周知していきます。

### 地域医療環境のさらなる充実を

**Q** 超高齢社会に向け、移動手段がいろいろなオンライン診療の推進が必要と考えるが、見解を伺う。

**A** 今後、オンライン診療やデジタルデバイスの活用が重要になるものと考えます。既に、有用性が高いものもありますが、一方で対象者の状況の把握の仕方や症状悪化時のサポート体制など、運用にあたって体制を整えるべきことも多くあります。将来的に多くの方がオンライン診療を活用できるように、医療体制の中で基盤整備やソフト的な支援も必要となることから、本市では現在、小笠医師会と協議しながらDX化支援に取り組んでいます。



### 医師会と協議しながらDX化支援に取り組んでいる

**A** 今後、オンライン診療やデジタルデバイスの活用が重要になるものと考えます。既に、有用性が高いものもありますが、一方で対象者の状況の把握の仕方や症状悪化時のサポート体制など、運用にあたって体制を整えるべきことも多くあります。将来的に多くの方がオンライン診療を活用できるように、医療体制の中で基盤整備やソフト的な支援も必要となることから、本市では現在、小笠医師会と協議しながらDX化支援に取り組んでいます。

創世会  
山田浩司



山田議員の一般質問  
はこちらから



### 学校施設の老朽化対応を

**Q** 学校が抱える諸課題の一つとして、学校施設の老朽化が考えられる。今後、学校施設の老朽化にどのように対応していくのか伺う。

**A** 本市の学校施設は、7割以上の建物が建設後30年を超えています。耐震改修は全ての校舎で終了し、地震災害に対する安全性は確保されていますが、施設の老朽化や機能低下が顕在化してきています。今後は、学校再編計画の策定に合わせ、施設や設備の老朽度と再編時期などを考慮しながら、学校施設長寿命化計画の見直しを行う予定です。見直しでは、既存校舎の改修時期や大規模改修を含む抜本的な対策などの方針を定め、学



### 学校施設長寿命化計画の見直しを行う予定である

**A** 本市の学校施設は、7割以上の建物が建設後30年を超えています。耐震改修は全ての校舎で終了し、地震災害に対する安全性は確保されていますが、施設の老朽化や機能低下が顕在化してきています。今後は、学校再編計画の策定に合わせ、施設や設備の老朽度と再編時期などを考慮しながら、学校施設長寿命化計画の見直しを行う予定です。見直しでは、既存校舎の改修時期や大規模改修を含む抜本的な対策などの方針を定め、学

校施設の長期的な安全確保につなげていきたいと考えています。

### 創業支援のために助成金を

**Q** 令和5年度掛川市行政経営方針の産業・経済分野では、「未来に向けてチャレンジできるまち掛川」に向けて、創業支援を位置づけていくべきかと考えるが、見解を伺う。

### 現在の支援策を積極的に活用していただきたい

**A** 本市では、中心市街地などへの開店支援事業として「新たなビジネススタイル応援補助金」を設けています。また、県では、「地域創生起業支援金」のほか、専門家派遣事業などがあり、国では、会社などの登録免許税額の減免制度などが活用されています。現在の支援策を積極的に活用していただきたいと考えています。

共に創る掛川  
富田まゆみ



富田議員の一般質問  
はこちらから



企業版ふるさと納税の推進で  
財政健全化を図るべきでは

**Q** 自治体の財源確保と地域課題解決に向けた企業との連携を強化し、持続可能な自治体経営推進のため、現在実施の2事業以外にも、企業版ふるさと納税事業を増やすべきと考えるが、見解を伺う。

掛川市ならではの事業を幅広く  
検討している

**A** SDGsの達成に資する事業や、企業の人材育成を応援するプロジェクトのほか、市民のチャレンジを応援する事業など、掛川市ならではの事業を幅広く検討しています。また、令和2年度には、民間企業の専門的知識・ノウハウを活用できる、人材派遣型の企業版ふるさと納税が創設されましたので、こちらについても研究していきます。

防災力強化には市内自治会・  
まち協同士の協力的体制作りが  
有効では

**Q** 単独の自主防災会だけでは対応が難しい事例の増加が予測される中、自治会同士がお互いに助け合う「姉妹自治会協定」や地区まちづくり協議会単位の連携推進が有効と考えるが、見解を伺う。



まちづくり協議会や自主防災  
会の連携支援に取り組む

**A** 災害時には、備蓄品を融通し合うなど、自主防災会同士が連携して取り組む必要性もあると思います。「津波・防災に関する勉強会」においても、3地区が共同で開催するなど、平常時における防災の連携事例もあります。災害時には、平常時からの連携が活かされますので、引き続き、まちづくり協議会や自主防災会の連携支援に取り組んでいきます。

日本共産党  
議員団  
大井 正



大井議員の一般質問  
はこちらから



掛川に仕事を創り、脱炭素に  
も貢献する事業に支援を

**Q** 市民や企業が積極的に太陽光パネルを設置できるよう、助成制度の拡充と普及の啓発活動を行うべきではないか。



助成拡充を検討するとともに  
蓄電池に重点をおく

**A** 本市では、戸建住宅への太陽光パネル設置の助成をしてきており、この結果、戸建て住宅への設置は4千件を超えています。昨今は、多くの新築住宅で太陽光パネルが設置されていますので、既存住宅への助成のみとしています。助成拡充を検討し、今後は、エネルギーを貯めて、賢く使う蓄電池などに重点をおきたいと考えています。

台風15号の経験を検証し、  
教訓を生かした対策を

**Q** 障がい者や足腰の弱ったお年寄りのいる家庭から、避難警報が出る前から、付き添い者と一緒に寝泊まりできる避難所を希望する声がある。福祉避難所などの規定にとらわれない、柔軟な対応が必要ではないか。

避難指示発令前の地域の避難  
所開設の協力をお願いする

**A** 台風15号において、避難指示が発令される前に、地域の避難所を開設した地区もありました。毎回、警報発表段階で地域の避難所を開設することは難しいと思われませんが、地域の立地条件や要配慮者の状況により、避難指示が発令される前に地域の避難所開設の協力をお願いしていきます。また、避難所で過ごすことは環境的に厳しいことから、自宅での避難が困難な場合は、親戚や知人宅などへの事前避難の周知を進めていきます。

【その他の質問事項】

・行政経営方針の環境分野の施策目標達成のために



創世会  
山本裕三



山本議員の一般質問  
はこちらから



### 市民の草刈りのニーズに対する対応策を

**Q** 全29回の地区集会で草刈りの要望は11地区と最多であったとのことだが、今後の草刈りのニーズに対する対応策を伺う。



河川に茂る草木

**A** 草刈りなどの愛護活動に参加する方の高齢化や、参加者の減少により、活動が困難になってきているとのお話があり、喫緊の課題であると認識しています。今年度は、本市で雇用する草刈作業員を増員し、危険箇所は、建設業者などに委託するなどの対応をしてみました。今後は、自走式草刈機の導入などにより、地域の草刈りの負担が少しでも軽減できるような方策を進めていきます。

### 市民の負担軽減のために

**Q** 超少子高齢化や、定年延長、共働き世代の増加で草刈りの担い手は減少している。担い手の負担軽減のために地域協働環境整備事業費（地区要望）を押し式の草刈り機などの購入補助に充てることできないか伺う。

### 関係機関と協力し有効策を考 えていく

**A** 地域協働環境整備事業は、基本的に本市の管理する道路や河川などの改良や修繕を目的とした事業であり、交通事故や災害へ対応するための工事の実施や材料を支給するための予算を確保するものであります。しかし、草刈りの問題は、本市の中でも大きな課題の一つであるため、関係機関と協力して有効策を考え、地域の負担軽減に向けて取り組んでいきます。

新しい風  
松浦昌巳



松浦議員の一般質問  
はこちらから



### テレビのデータ放送の活用を

**Q** 市民が主役の掛川市となるために、市民活動や市の情報などをテレビのデータ放送を活用して配信することで、「手のひら市役所」と合わせて「お茶の間市役所」となり、より身近な掛川市となると思うが、見解を伺う。



### 令和5年1月実施に向け準備を進めている

**A** テレビのデータ放送活用は、市民が自分の生活にあった情報取得手段を選べるという点でとても良いことと考えています。データ放送活用については、年度当初から検討しており、令和5年1月実施に向けてテストをしているところです。本格実施の際には、広報紙やSNSなどで市民に周知し、活用していただくことを考えています。

また、掲載情報についても併せて検討しているところです。

### 二酸化炭素削減のため公共交通の利用推進を

**Q** 温暖化対策や二酸化炭素削減の観点から、乗用車の使用を減らすために、公共交通機関の利用を推進するべきと考えますが、所見を伺う。

### 公共交通の利用推進を図る

**A** 自家用車から公共交通への転換を図ることは、CO2排出量削減に有効な手段の一つであるため、公共交通の利用を推進するべきと考えています。本市は、自家用車の依存度が非常に高く、公共交通への転換は厳しい状況ではありますが、公共交通の利用促進を図り、CO2の排出量削減に向け取り組んでいきます。

### 【その他の質問事項】

・移住定住策について

# 未来日誌

※1月12日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

## 2月

- 6日(月)9:00 ○全員協議会
- 21日(火)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)
- 22日(水)9:30 ○本会議(議案の提案説明)
- 24日(金)9:30 ○予算決算委員会
- 27日(月)9:30 ○本会議(令和4年度関係議案質疑～委員会付託)
- 本会議終了後 ○予算決算委員会  
○分科会、部門別常任委員会

## 3月

- 1日(水)9:30 ○予算決算委員会
- 6日(月)9:30 ○本会議(令和4年度関係議案委員長報告～採決)
- 7日(火)9:00 ○本会議(一般質問)
- 8日(水)9:00 ○本会議(一般質問)
- 9日(木)9:00 ○本会議(一般質問、令和5年度関係議案質疑～委員会付託)
- 本会議終了後 ○予算決算委員会
- 10日(金)9:30 ○分科会
- 13日(月)9:30 ○分科会
- 14日(火)9:30 ○分科会
- 16日(木)9:30 ○部門別常任委員会
- 20日(月)9:30 ○予算決算委員会
- 24日(金)9:30 ○本会議(令和5年度関係議案委員長報告～採決、閉会)

# 議員研修会

掛川市議会では議員の能力向上を図るため、議員研修会を行っています。

令和4年11月24日、掛川城天守閣修復景観整備工事の現場見学を行い、担当者から工事概要及び進捗状況などの説明を受けました。

議員研修会で学んだことを議会活動に活かしていきます。



掛川城天守閣現場にて

### 傍聴席

子育て支援活動をする中で、市役所・議会が以前より身近なものになりました。議会定例会の質問が掛川市のリアルな課題だと思いい、関心を持っています。

議員の質問と市の答弁は事前の議論・打合せを繰り返して行い出来上がったものです。市の回答に一喜一憂することも多いですが、現状と市の姿勢を知る大事な機会と感じています。「検討する」のであれば、その後実行されているか、ニーズに合っているか市民を交え声を聴く機会を持ち、有意義なものにして頂きたいです。議会中継も便利ですが、やっぱり現場での傍聴が臨場感があり良いなと思います。

田辺エミ(倉真)

### 編集後記

今年1年が、わくわくする表紙絵ですね。

今回の議会だよりは、3年ぶりに開かれた議会報告会の様子、補正予算、会派代表質問、一般質問など、広報広聴の両面を十二分に伝えられる内容になっています。DXにより、多くの情報を知る

### 今号の表紙



掛川東高校2年生 雪山 美月さんの作品

掛川市の地図をモチーフにして魅力的な場所を描きました。市内には、歴史に関わる建物や家族連れのスポットなど市民が楽しめる場所が数多くあります。私にとって掛川市は素敵な思い出がたくさんある場所です。子どもたちが大人になっても過ごしてきた日々を忘れないでほしいという願いを込めました。



雪山美月さん(掛川東高校)

ことができるようになりましたが、紙に文字を残すことで繰り返し読んでいただける利点もあります。読んでいただいた感想やご意見など、皆さまからの声をお聞かせ願えると嬉しいです。これからも議会に対する理解や関心が深まるように取り組んでまいります。

議会だより編集分科会

石川 紀子

